

平成 27 年 11 月 15 日

桜門体育学会平成 27 年度大会のご案内

桜門体育学会事務局

ご挨拶

向寒の候、会員の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、リニューアル後の桜門体育学会大会も本年度で第 6 回目を迎えます。今回は特別講演に岡達生氏（公益財団法人日本体育協会スポーツ指導者育成部部长）を招いて、「これからの体育・スポーツ指導者に求められる資質（仮）」のテーマで講演していただきます。

また、ディベートフォーラムでは、特別講演の話しを受け、体育・スポーツの実技指導の現場からの報告・提案として、「体育教師に求められる実践的指導力の養成に向けた授業実践 - 創発分析能力に焦点化して -」をテーマとし、青山清英氏、大嶽真人氏、鈴木理氏、野口智博氏、城間修平氏、村上幸史氏、吉田明子氏（以上日本大学文理学部体育学科）に体育教師に求められる実践的指導力、動感創発身体知、各実技授業における成果と課題について、議論を展開していただきます。

特別講演、ディベートフォーラム共に体育教師として既に教育に携わっておられる先生方だけでなく、未来の体育教師にとっても、重要かつ興味深いテーマとなっていますので、大学院生や体育学科生（準会員）にも、積極的に参加していただきたいと考えています。併せて、本大会が会員の皆さんの交流を深め、日本大学の教育・研究の発展に一致団結して邁進する契機になることを願っております。

平成 27 年度大会実行委員会委員長 佐藤 秀明

1. 大会概要

- ※ 会 期： 平成 28 年 1 月 24 日（日）
- ※ 会 場： 日本大学文理学部百周年記念館他
- ※ 大会事務局： 日本大学文理学部体育学研究室
住所：〒156-8550 東京都世田谷区桜上水 3-25-40
TEL：03-5317-9717 FAX：03-5317-9426

2. 参加登録

※ 事前申込の期限と参加登録の手続き

- ・同封の「大会参加・発表申込み用紙」に必要事項を記入し、桜門体育学会事務局まで FAX **【047-474-2834】** でお送り下さい。または、本学会のホームページ **【<http://www.nu-taiiku.jp/society/>】** から「大会参加・発表申込み用紙」をダウンロードし、学会事務局のメールアドレス **【omonjim@nu-taiiku.jp】** にご送付下さい。FAX,

メールともに締め切りは 12月12日(土) と致します。「大会参加・発表申込み」をされた方に、大会プログラムと発表抄録集を発送致します。

- ・大会参加費は学会員、非会員共に 3,000 円となり、大会参加者と発表者の方が大会当日、受付にてお支払い下さい。共同研究者であっても、大会に参加されない方は不要です。

3. 一般発表（ポスター発表）申込要領

※ 申込期限と登録方法

- ・ 12月12日(土) までに、発表抄録原稿を学会事務局のメールアドレス【omonjim@nu-taiiku.jp】にご送付下さい。
- ・送付方法は電子メール、送付ファイルは Word 文書と致します。大会事務局にて、期日内の到着を確認後、ご発表を登録致します。

※ 抄録作成、送付手続きの詳細

- ・ Word で作成した抄録のファイル名称を「発表者の姓-名」にして下さい。例えば発表者が佐藤秀明（サトウヒデアキ）であれば、「sato-hideaki」となります。
- ・電子メールの件名を「omon（漢字で発表者の姓名）」とし、本文 1 行目に電話連絡先をご記入下さい。
- ・以下の要領に従って発表抄録を作成して下さい。なお、書式の Word ファイル「大会抄録書式」が、本学会ホームページ【<http://www.nu-taiiku.jp/society/>】にありますのでダウンロードしてください。
 - 1) 用紙：A4 版横書き 1/2 ページに収まるように要旨をまとめる。
 - 2) 文字：明朝体、10 ポイント以上を用いる。
 - 3) 演題・氏名等：
 - ①演題は上段 1 行目または 2 行目を用い、副題がある場合は改行して記入する。
 - ②演題は拡大文字を使用する。
 - ③演者と共同研究者の氏名は、4 行目と 5 行目を用いる。所属機関は氏名の後に括弧（ ）書きをする。演者には、氏名の前に丸「○」をつける。
 - ④準会員（体育学科学生）は共同研究者として、指導教官名を必ず記載する。
 - 4) キーワード：6 行目に 2～5 語程度で記入する。
 - 5) 本文：本文は 7 行目から記入する。

【「大会参加・発表申込み用紙」, 「発表抄録」の送付先】

桜門体育学会事務局：e-mail：omonjim@nu-taiiku.jp Fax：047-474-2834

4. 大会行事

※ 一般発表（10:00～11:30）

- ・演題数にもよりますが、発表を研究領域毎に3ブロックに分け（3名の座長）、3ブロック同時進行で、10:00から1名2～3分程度のプレゼンテーションを順番に行います。
- ・質疑応答はすべてのプレゼンテーション終了後にそれぞれのポスター前で行います。発表者が随時ご対応下さい。
- ・プレゼンテーションは10:45位に終了する予定ですが、発表者は11:30まで在席して下さい。
- ・ポスターの大きさは縦140cm、横90cmで作成してください。2m先からでも十分にみえる図表、文字を使用して下さい。演題、発表者、共同発表者、所属を明示して下さい。

※ 特別講演（13:00～14:00）

「これからの体育・スポーツ指導者に求められる資質（仮）」
 公益財団法人 日本体育協会スポーツ指導者育成部部长
 岡 達生 氏

詳細は後日、お送り致します平成27年度大会プログラムをご参照ください。

※ ディベートフォーラム（14:15～16:15）

「体育教師に求められる実践的指導力の養成に向けた授業実践 - 創発分析能力に焦点化して -」

司会：伊佐野 龍司（日本大学文理学部体育学科 助教）

シンポジスト：

青山 清英（日本大学文理学部体育学科 教授）
 大嶽 真人（日本大学文理学部体育学科 教授）
 鈴木 理（日本大学文理学部体育学科 教授）
 野口 智博（日本大学文理学部体育学科 教授）
 城間 修平（日本大学文理学部体育学科 助教）
 村上 幸史（日本大学文理学部体育学科 助教）
 吉田 明子（日本大学文理学部体育学科 助教）

【要旨】

近年、教師の「実践的指導力」に関する議論が止まない。現在の学校現場は、いじめ、学校不適應による保健室登校や不登校、SNS問題など、これまでの教育観では対応しきれない問題が生じている。こうした教育課題に対し、2012年の中央教育審議会答申「教職生活の全体を通じた教員の資質能力の総合的な向上方策について」において、教師はグローバル化や情報化等の社会の変化に応じた教科・教職に関する高度な専門的知識を有し、それらを授業・生徒指導・学級経営等において実践できる力を備えることを示した。これは、伝統的な学習指導のみならず、社会の変化に応じた学びをデザインすることのできる能力持ち合わせることを要求し、教師の職能の多様性が一層増すことを意味している。さらに、

これらの能力は獲得完了型ではなく、養成段階から現職教員の段階へと延長し、省察を中心とした更新型となっているため、生涯を通じて学びつづけることも求められていることは言うまでもない。こうした事態を佐藤学（2015）は『教える専門家』から『学びの専門家』として教師の役割が変化している」と、反省的実践家としての教師の重要性と専門職性の現状を述べている。

上記の実践的指導力の向上は、体育教師にも他人事ではない。教科指導に焦点化すれば、身体活動を通じた学習であるにも関わらず、生理学的効果に依拠したエクササイズとしての媒介、技能やルールの一方向的な教授に留まるなど、本来の志向とは異なる方向性の授業が依然として散見されている。こうした事態に歯止めがかからなければ、学習とは掛け離れた体育授業が再生産され続けることは容易に想像できるだろう。それは同時に、要請される教師の職能性ともかけ離れることになる。

こうした事態に対して、多くの体育教師を輩出する体育学科においても、早急に対応する必要があることは言うまでもない。教職必修の授業担当教員によって組織された発表者らは、平成26年より、体育教師の実践的指導力を構成する諸能力に関する議論を進めてきた。そして、その能力の一つとして、運動指導において必須とされる発生運動学における創発能力を取り上げ、その形成過程の分析を、体育学科実技授業の受講者を対象に行った。

本ディベートフォーラムでは、以下3点に示した、これまで発表者らが進めてきた研究の概要と創発分析能力の向上を志向して実践された実技授業の内容とその成果と課題について発表する。これらを通じて、体育教師の実践的指導力の諸能力とその向上策、体育教師養成機関として求められる課題を導きたい。

- 1) 体育教師に求められる実践的指導力とは
- 2) 体育教師教育における動感創発身体知
- 3) 各実技授業における成果と課題
(陸上競技：投てき，水泳：クロールの息継ぎ，球技：バスケットボール・サッカー，ダンス：ペアによるリズムダンス)

※ 総会 (16:30～17:00)

※ 懇親会 (17:15～18:30)

会場：カフェテリア「秋桜」

会費：2,000円（会費は当日、徴収致します）

以 上